

三百六十五夜

作詞・西條八十、
作曲・古賀政男

1 (男)

みどりの風に おくれ毛が
やさしくゆれた 恋の夜
初めて逢(お)うた あの夜の君が
今は生命(いのち)を 賭ける君

□□

2 (女)

たそがれ窓に 浮かぶのは
いとしき人の 旅すがた
我ゆえ歩む 道頓堀の
水の夕陽が 悲しかろ

3 (男)

気づよく無理に 別れたが
想い出の道 恋の街
背広に残る 移り香(が) かなし
雨の銀座を ひとりゆく

4 (男女)

鈴蘭匂う 春の夜
灯(ともしび)うるむ 秋の夜
泣いた 三百六十五夜の
愛の二人に 朝が来る

二百六十五夜

作詞・西條八十、
作曲・古賀政男

1 (男)

みどりの風に おくれ毛が

やさしくゆれた 恋の夜

初めて逢 (お)うた あの夜の君が

今は生命 (いのち)を 賭ける君

2 (女)

たそがれ窓に 浮かぶのは

いとしき人の 旅すがた

我ゆえ歩む 道頓堀の

水の夕陽が 悲しがる

三百六十五夜

作詞・西條八十、
作曲・古賀政男

3 (男)

■ ■
気づよく無理に 別れたが

想い出の道 恋の街

背広に残る 移り香 (が) かなし

雨の銀座を ひとりゆく

4 (男女)

鈴蘭匂う 春の夜

灯 (ともしび) うるむ 秋の夜

泣いた 三百六十五夜の

愛の二人に 朝が来る